

製品概要※1



*冬期のみ同梱

商 品 名	内 容 量	色 見 本 ※2
プライマーK	1kg	ライトグレー（N-70近似色）※3 グレー（N-55近似色）※3
ハイボンドウレタンコート	10kg	
希釈剤	200g	
硬化促進剤 ※冬期のみ同梱	200g	
ウレタントップK 主剤	900g	
ウレタントップK 硬化剤	90g	
防滑骨材	30g	

※1 製品改良のため、仕様・外観などを予告なしに変更することがあります
 ※2 印刷上での発色となります。日本塗料工業会の色見本帳・日塗工番号（色票番号）にてご確認ください
 ※3 日本塗料工業会 塗料用標準色 2019年K版における色票番号です

取扱い上の注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 冷暗所に保管し、開封後は直ちに使用してください。
- ご使用の際は、当カタログや製品本体に記載の注意事項およびSDS（安全データシート）をよくお読みください。
- ご使用の際は、皮膚・粘膜・目などに入らぬように適切な保護具を着用してください。
 万一皮膚に付着した場合は多量の石鹼水で洗い落とし、痛みや外観に変化がある場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 施工中および乾燥中ともに換気を十分に行い、ミストや蒸気を吸い込まない様にしてください。
- 万一、火災が発生した際は、粉末消火器または炭酸ガスを使用し、水は使用しないでください。
- 内容物や容器を廃棄する際は、国および地方自治体の規則に従い産業廃棄物として廃棄してください。

会社紹介

商 号	カナエ化学工業株式会社
所 在 地	〒660-0086 兵庫県尼崎市丸島町8番地2
電 話 / FAX	06-6418-1501 / 06-6419-2269
ホームページ	https://www.kanaekagaku.co.jp

※ ホームページよりカタログをダウンロードできます



2026年8月作成

カナエ1液ウレタン防水キット

ウレタン防水・FRP防水などの防水層改修用

Product Description



カナエ 1 液ウレタン防水キット

カナエ 1 液ウレタン防水キットは、屋上・ベランダ・庇などの防水層を改修する際に使用する「プライマー・1 液ウレタン防水材・トップコート」がセットになった製品です。

ワンセットで防水層の改修が可能であり、5㎡使い切りタイプのため材料ロスが少なく経済的です。また、すべての工程がローラーおよび刷毛の1回塗りで施工可能であり、工期が短縮できます。

防水材のウレタン塗膜は、ゴム弾性のある防水層を形成し、下地への密着や追従性に優れています。さらに1液タイプのため、配合ミスや硬化不良による不具合の心配をすることなく、安心して防水機能を得ることができます。



用途

屋上、ベランダ、庇などの防水層の改修

特徴

- プライマー、1 液ウレタン防水材、トップコートが同梱された5㎡使い切りキットです。
- すべての工程がローラーおよび刷毛で施工可能です。
- すべての工程が1回塗りのため、施工時間が短縮できます。
- 防水材が1 液ウレタンタイプのため、配合ミスや硬化不良の心配がありません。
- トルエン、キシレンなどを使用していない「特定化学物質非該当品」です。

一般性状

(ハイボンドウレタンコート単体の性状です)

項 目	試験結果	試験方法
外 観	グレー色液体	目視
粘 度 (23℃)	15000～20000mPa・s	BH型粘度計
加熱残分	92～97%	JIS-K-5407
可使時間 (23℃)	60～90分	BH型粘度計
初期硬化時間 (25℃×50%RH)	約8時間	1.5mm厚塗布

一般物性

(ハイボンドウレタンコート単体の物性です)

項 目			測定 値	規 格 値 (※1)	項 目		測定 値	規 格 値 (※1)		
引張り性能			引張強さ (N/mm ²)	5.5	2.3以上	劣化 処理 後 の 引 張 り 性 能	引張り 強さ比 (%)	加熱処理	82	80以上
			破断時の伸び (%)	838	450以上			促進暴露処理	90	60以上
			抗張積 (N/mm)	926	280以上			アルカリ処理	98	60以上
引裂性能			引裂強さ (N/mm)	19.6	14以上			破断時の 伸び率 (%)	酸処理	95
温度 依 存 性	引張り 強さ (N/mm ²)	試験時温度 (-20℃)	16.0	2.3以上	伸び時の 劣化性能	加熱処理	960		400以上	
		試験時温度 (60℃)	2.9	1.4以上		促進暴露処理	941			
	破断時の つかみ間 伸び率 (%)	試験時温度 (-20℃)	540	250以上		アルカリ処理	982			
		試験時温度 (23℃)	594	300以上		酸処理	835			
		試験時温度 (60℃)	360	200以上	加熱処理		異常なし	いずれの試験片 にもひび割れ、 著しい変形を 認めない。		
加熱伸縮性			伸縮率 (%)	-0.4	-4.0以上、 1.0以下	促進暴露処理	異常なし			
						オゾン処理	異常なし			
硬化物比重							1.3			

(※1 JIS A 6021に準拠)

施工方法



- 砂、埃、油脂、チョーキング等は、高圧洗浄機などを用いて完全に除去してください
- 下地がFRP防水またはウレタン防水の場合は、清掃後にアセトンで軽く拭き掃除をしてください
- 塗装場所以外は、養生テープおよびシートで保護して塗料の付着を防いでください
- ドレン部分は、塗料が流れ込まない様にしっかり養生してください
- 下地は、十分に乾燥させてから次の工程に進んでください
- 下地にクラックがある場合は、適切な下地調整をしてから次の工程に進んでください

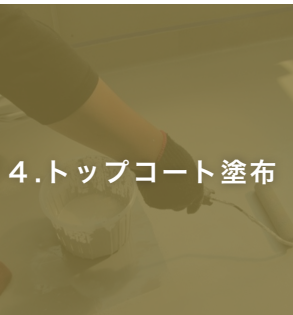


- プライマー-K原液を、刷毛またはローラーで塗布してください
 - 乾燥後、指触で手に付着しない状態を確認してから次の工程に進んでください
- ➡ 塗布量：0.2kg/㎡×1回塗り 養生：1時間30分～2時間程度



- ハイボンド ウレタンコート原液を、水上より流し広げてください
- 防水材の状態や塗布する箇所に合わせて、同梱の希釈剤で粘度調整してください
- 立ち上り部分は、一度捨て塗りしてから再度塗布することで施工が可能です
- 冬季は硬化促進剤を添加し、乾燥時間を調整してください

- ➡ 塗布量：2.0kg/㎡×1回塗り 養生：夏場 10時間～12時間程度
冬場 10時間～12時間程度 (硬化促進剤あり)



- ウレタントップKの主剤に硬化剤を混合し、十分に攪拌してから刷毛またはローラーで塗布してください
- 主剤と硬化剤を混合した後は、1時間以内に使い切るようにしてください
- 養生箇所のテープおよびシートは、乾燥を確認してから除去してください

- ➡ 塗布量：0.2kg/㎡×1回塗り

*防滑仕上げの場合：先ず主剤に防滑骨材を混合し、攪拌してから5分程度静置してください
その後、硬化剤を混合して再び十分に攪拌してください

施工図



施工上の注意

- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境下での施工は避けてください。
- 降雨時・降雪時および施工後乾燥するまでに降雨・降雪の恐れがある場合の施工は避けてください。
- 施工時は必ず原液を標準塗布量で使用し、混合が必要なものは十分に攪拌してください。
- 下地処理は、防水材の接着力を決定する重要な工程です。特にチョーキング、油脂、埃などは高圧洗浄機等でしっかり除去してください。これらの上に塗布すると本来の接着力が発揮されず、剥離や膨れが生じる原因となります。
- 降雨や洗浄により下地が湿っている場合は、十分に乾燥させてから施工してください。
- 気温の低い時は乾燥時間が長くなりますので、乾燥状態を確認してから次の工程に進んでください。